

バスラ日誌 (5月18日)

- 1 昨日1755から、バスラ航空基地エアポートにおいて、先日のヘリコプター墜落事故で亡くなられた5名の方のご遺体を、本国へ送還する儀式が執り行われた。今回も参列者への統制は最小限で、現地において説明があった後、すぐに式が開始された。従軍牧師の先導で、バグパイプの音色が響くなか、各々の棺を6名の兵士が担ぎ、航空機の手前に安置した。殉職者の名前を1人ずつ読み上げ、それぞれに対し、全員で折りの言葉を捧げた。全ての折りが終わり、ラッパ吹奏に合わせて敬礼し、式は終わった。約1時間の儀式であったが、哀悼の気持ちを込め、心からご冥福をお祈りした。
- 2 上善3日目(1月25日)の患者後送時、患者を一時シャイバ兵站基地に後送する事になり、同行医官と連絡が取れなくなって、車両でシャイバに行ってくれないかという依頼があったことがある。IEDの脅威があるため、基地の外に車を出ることは禁じられていたが、群長の許可があれば行きますと答えた。行くことになれば自分1人で行くつもりだったが、私も行きますと班員が言ってくれた。(連れて行くつもりはなかったが。)今思えば、単独しか持っていないし(車両移動時の小銃携行義務有)、車両の単独移動はMND(SE)も禁じているので、行くとすれば英軍エスコートの調整も必要だっただろう。結局、シャイバの医務室に下手な英語で電話して、日本隊の患者が運ばれてくるので、同行医官に、この電話番号に電話するよう伝えてくれと連絡して事なきを得た。電話1本で済むことを、何であんな厄介な方法を考えていたのか今思えば笑い話であるが、その時は真剣だった。
ヘリ移動にも危険が伴うし、師団長表彰などは先任者が同行した方が良いだろうということで、サマワ等への移動は私が実施することになっていたが、何もない時には、そろそろ班員にも機会を見つけて行かせてあげようかと考えていたところ、ヘリ墜落の情報が2件続いた。英軍ヘリについては確定していないが、その可能性が高いようである。本日、MJLC代理参加のため、シャイバ兵站基地に行ってくるが、できれば、あの時の医務室に寄って御礼を言ってきたと思う。ヘリ移動だし、シャイバはBASよりIDF攻撃を受けているのでちょっと嫌な感じがた。
- 3 本日晴後曇り一時雨(雷)。バスラ4名、極めて健康。

スミッティLO日々業務報告(5月18日)

●

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし Threat Level II
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマワ市内の治安情勢、デモ関連情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 明日以降の豪軍支援要請関連、群長・豪支隊長等キャンパスミッティ訪問関連、 サマワ宿営地訪問関連、等サマワ宿営地訪問関連、 整備関連、CIMIC関連、TFMからの依頼事項関連、変更関連等 (3) 各種ミーティング等 英豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 RANGE2:IPA(小火器)0830~1400 RANGE4:英軍(小火器)0800~1800